

国語

科目区分	科目名	中学校		高校	
		必修	選択	必修	選択
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	言語学概説 A		2		2
	日本語学概説 A	2		2	
	日本語学概説 B	2		2	
	日本言語文化基礎演習 B		2		2
	言語行動論		2		2
	近代日本語論 A		2		2
	近代日本語論 B		2		2
	日本言語文化実習 A		1		1
	日本言語文化実習 B		1		1
	古代日本語論 A		2		2
	古代日本語論 B		2		2
国文学（国文学史を含む。）	日本言語文化論		2		2
	日本文学概説 A	2		2	
	日本文学概説 B		2		2
	日本文学概説 C	2		2	
	日本言語文化実習 C		1		1
	日本言語文化実習 D		1		1
	日本言語文化基礎演習 A		2		2
	日本古典文学論 A		2		2
	日本古典文学論 B		2		2
	日本近代文学論 A		2		2
	日本近代文学論 B		2		2
	日本伝統文芸論 A		2		2
	日本伝統文芸論 B		2		2
	日本言語文化演習		2		2
漢文学	アジア言語文化概説 C	2		2	
	環東アジア言語文化論		2		2
書道（書写を中心とする。）	書道講義及び実習Ⅰ	2			
	書道講義及び実習Ⅱ		2		

※高校は書道は含まない

社会

科目区分	科目名	必修	選択	科目区分	科目名	必修	選択
日本史・外国史	考古学概説		2	地理学（地誌を含む。）	地理学概説	2	
	民俗学概説		2		地誌学概説		2
	芸能論概説		2		自然地理学		2
	日本史概説	2		「法学、政治学」	憲法Ⅰ（人権各論）		2
	古文書学概説A		2		憲法Ⅲ（憲法総論・人権総論）	2	
	古文書学概説B		2		政治学Ⅰ		2
	アジア史概説	2		「社会学、経済学」	社会学概説	2	
	西洋史概説	2			社会調査法A		2
	西洋歴史文化研究法A		2		社会調査法B		2
	西洋歴史文化研究法B		2		現代社会論A		2
	歴史文化学基礎演習		2		現代社会論B		2
	宗教思想史A		2		家族社会学		2
	民俗文化論A		2		社会意識論		2
	民俗文化論B		2	「哲学、倫理学、宗教学」	人間学概説		2
	芸能文化論A		2		哲学概説	2	
	芸能文化論B		2		倫理学概説		2
	日本国家史A		2		西洋哲学史概説		2
	日本国家史B		2		宗教学概説		2
	日本社会史A		2		人間学特殊講義		2
	日本社会史B		2		哲学研究A		2
	日本地域史A		2		哲学研究B		2
	日本地域史B		2		西洋古代中世哲学史		2
	環東アジア社会論		2		西洋近現代哲学史		2
	中国社会論		2		哲学思想演習		2
	朝鮮社会論		2		宗教学演習		2
	アジア歴史文化論A		2				
	アジア歴史文化論B		2				
	西洋地域史A		2				
	西洋地域史B		2				
	西洋社会史A		2				
	西洋社会史B		2				
	西洋文化史A		2				
	西洋文化史B		2				
	西洋史演習		2				

公民

科目区分	科目名	必修	選択
「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	憲法Ⅰ（人権各論）		2
	憲法Ⅲ（憲法総論・人権総論）	2	
	政治学Ⅰ		2
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学概説	2	
	社会調査法A		2
	社会調査法B		2
	現代社会論A		2
	家族社会学		2
	社会意識論		2
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	人間学概説		2
	心理学概論A		2
	心理学概論B		2
	哲学概説	2	
	倫理学概説		2
	西洋哲学史概説		2
	宗教学概説		2
	知覚・認知心理学A		2
	学習・言語心理学		2
	社会・集団・家族心理学		2
	心理学研究法		2
	心理学統計法		2
	人間学特殊講義		2
	哲学研究A		2
	哲学研究B		2
	西洋古代中世哲学史		2
	西洋近現代哲学史		2
	感情・人格心理学		2
	知覚・認知心理学B		2
	発達心理学		2
	哲学思想演習		2
	宗教学演習		2

地理歴史

科目区分	科目名	必修	選択
日本史	考古学概説		2
	民俗学概説		2
	芸能論概説		2
	日本史概説	2	
	古文書学概説 A		2
	古文書学概説 B		2
	歴史文化学基礎演習		2
	民俗文化論 A		2
	民俗文化論 B		2
	芸能文化論 A		2
	芸能文化論 B		2
	日本国家史 A		2
	日本国家史 B		2
	日本社会史 A		2
	日本社会史 B		2
	日本地域史 A		2
	日本地域史 B		2
外国史	アジア史概説	2	
	西洋史概説	2	
	西洋歴史文化研究法 A		2
	西洋歴史文化研究法 B		2
	宗教思想史 A		2
	環東アジア社会論		2
	中国社会論		2
	朝鮮社会論		2
	アジア歴史文化論 A		2
	アジア歴史文化論 B		2
	西洋地域史 A		2
	西洋地域史 B		2
	西洋社会史 A		2
	西洋社会史 B		2
	西洋文化史 A		2
	西洋文化史 B		2
	西洋史演習		2
人文地理学・自然 地理学	地理学概説	2	
	自然地理学	2	
地誌	地誌学概説	2	

人文学部

英語

科目区分	科目名	必修	選択
英語学	英米言語概説 A	2	
	英米言語概説 B		2
	英米言語文化基礎演習 B		2
	言語体系論		2
	英米言語論 A		2
	英米言語論 B		2
英語文学	英米文化概説 A	2	
	英米文化概説 B		2
	英米言語文化基礎演習 A		2
	英米文芸論		2
英語コミュニケーション	実践英語セミナー	2	
	英語表現セミナー	2	
異文化理解	英米文化論 A	2	
	英米文化論 B		2
	英米言語文化演習		2

人文学部

中国語

科目区分	科目名	必修	選択
中国語学	中国言語文化論 A	2	
	中国言語文化論 B		2
	アジア言語文化研究法 B		2
中国文学	アジア言語文化概説 A		2
	アジア言語文化論 A		2
	中国文芸文化論 A	2	
	アジア言語文化概説 B		2
	アジア言語文化論 B		2
	中国文芸文化論 B		2
	アジア言語文化演習		2
中国語コミュニケーション	コミュニケーション・中国語	2	
	中国語セミナー		2
異文化理解	アジア言語文化基礎演習	2	
	中国思想文化論		2

人文学部

ロシア語

科目区分	科目名	必修	選択
ロシア語学	ロシア言語文化概説B	2	
	ロシア言語文化基礎演習B	2	
	言語学概説B		2
ロシア文学	ロシア言語文化概説A	2	
	ロシア言語文化基礎演習A	2	
	ロシア文芸論		2
	ロシア言語文化演習		2
ロシア語コミュニケーション	コミュニケーション・ロシア語A	2	
	ロシア語セミナー		2
異文化理解	ロシア言語文化論A	2	
	ロシア言語文化論B		2
	ロシア言語文化論C		2

人文学部

フランス語

科目区分	科目名	必修	選択
フランス語学	フランス言語文化概説B		2
	フランス言語文化基礎演習B		2
	フランス言語文化論C	2	
フランス文学	フランス言語文化概説A	2	
	フランス言語文化基礎演習A	2	
	フランス文芸論		2
	フランス言語文化演習		2
フランス語コミュニケーション	コミュニケーション・フランス語A	2	
	フランス語セミナー		2
異文化理解（フランス語）	フランス言語文化論	2	
	西洋言語文化研究法B		2
	フランス言語文化論B		2

教育学部

「学生要覧」3.(3)専門教育に関する授業科目履修案内を参照してください。

令和8年度学生要覧 3.(3) 17 ページから 42 ページ

https://www.ed.niigata-u.ac.jp/wp-content/uploads/2026/04/2026_gakuseiyoran.R8.pdf

令和8年度 新入生

教員免許取得資料

教育職員免許状の取得ガイド

教育職員免許状（教職免許）を取得しようとする学生は，教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければなりません。

- ① 66条の6 8単位
- ② 教科及び教科の指導法に関する科目 36単位
- ③ 教育の基礎的理解に関する科目等 24単位

※この他，小中学校の教諭の免許状を取得するためには，「介護等体験」の履修が必要となります。

① 66条の6

（１）日本国憲法

- 憲法Ⅰ
 - 憲法Ⅲ
- } これら2科目より1科目2単位

（２）体育

- 健康スポーツ科学講義 2単位
 - 健康スポーツ科学講義 a 1単位
 - 健康スポーツ科学講義 b 1単位
- } これら3科目より2単位

（３）外国語コミュニケーション

- 中級コミュニケーション英語
 - 上級コミュニケーション英語
 - ドイツ語スタンダードⅡ
 - フランス語スタンダードⅡ
 - 中国語スタンダードⅡ
- } の中からいずれか2単位

（４）数理，データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作

- 情報処理概論 AⅠ 2単位
 - 情報処理概論 AⅡ 2単位
 - データサイエンス総論Ⅰ 1単位
 - データサイエンス総論Ⅱ 1単位
 - データサイエンス基礎演習 2単位
- } の中からいずれか2単位

②教科及び教科の指導法に関する科目

教科に関する科目	取得しなければならない単位数（最低）	
	教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目
「法律学（国際法を含む。） 政治学（国際政治を含む。）」	左欄の科目に該当する 科目からそれぞれ 1 単位以上 計 2 0 単位	左欄科目区分に定める 授業科目から 1 2 単位
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」		
「哲学，倫理学，宗教学， 心理学」		
教科教育法	4 単位	
合計	<u>3 6 単位</u>	

※詳細は 3 ページを参照

※ 3 ページの必修科目については，必ず単位修得すること。

③教育の基本的理解に関する科目等

※詳細は 4 ページを参照

※ 3 年次終了時までには，修得しておかないと 4 年次の教育実習に参加できなくなる教科もあるので，
「中等教育実習」（いわゆる教育実習）と「教職実践演習（中等）」（いずれも 4 年次に履修）以外の
教科及び教職に関する科目は，3 年次終了時までには修得しておくことがたいへん望ましい。

法学部 ② 教科及び教科の指導法に関する専門科目履修表（公民）

○平成31年度以降入学者

学部	学科等	免許状の種類	教科に関する科目	科目	単位	備考
法学部	法学科 1 免許状取得に必要な最低修得単位数（高一種免） ・教科及び教科の指導法に関する科目 24単位 ・教育の基礎的理解に関する科目等 23単位 ・大学が独自に設定する科目 12単位 2 学 位 学士(法学)	高一種免（公民）	「法律学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」	行政法Ⅰ	2	
				行政法Ⅱ	2	
				自治体法	2	
				刑法Ⅰ	2	
				刑法Ⅲ	2	
				○憲法Ⅲ	2	
				憲法Ⅰ	2	
				国際関係論	2	
				国際人権法	2	
				○国際法	2	
				政治学Ⅱ	2	
				○政治学Ⅰ	2	
				民事訴訟法Ⅰ	2	
				情報法Ⅰ	2	
				民法Ⅰ	2	
				民法Ⅵ	2	
				民法Ⅱ	2	
				民法Ⅷ	2	
				会社法Ⅰ	2	
				会社法Ⅱ	2	
				知的財産法Ⅰ	2	
				経済法Ⅰ	2	
			「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	○社会学	2	
				法社会学	2	
				ジェンダー論	2	
				アジア政治外交史	2	
			「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	○人間学概説	2	人文学部
				哲学概説	2	人文学部
				○倫理学概説	2	人文学部

○印は必修科目を示す。

③教育の基礎的理解に関する科目等

○教育の基礎的理解に関する科目等

令和4年度以降入学者

免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単位数	中一種免 免許状取得のための最低修得	高一種免	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論	2	2	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職入門	2	2	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育の制度と経営	2	2	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育・学校心理学B	2	2	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2	2	2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	（教育課程及び総合的な学習の時間の指導法Bに含まれる。）				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道 徳 指 導 法	2	2		
	総合的な学習の時間の指導法	教育課程及び総合的な学習の時間の指導法B	2	2	2	
	特別活動の指導法	（教育方法及び特別活動の指導法Bに含まれる。）				
	教育の方法及び技術	教育方法及び特別活動の指導法B	2	2	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育情報論	1	1	1	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導B	2	2	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談・進路指導B	2	2	2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	（教育相談・進路指導Bに含まれる。）				
教育実践に関する科目	教育実習	中等教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む。）	3	3	3	
		中等教育実習Ⅲ	2	2		
	教職実践演習	教職実践演習（中等）	2	2	2	
合 計 単 位 数				28	24	

③教育の基礎的理解に関する科目等

【備考】

①中等教育実習Ⅱ及び中等教育実習Ⅲを履修することのできる者は、学部第4年次学生で次の(1)(2)いずれにも該当する者とする。

(1)教育職員免許法施行規則第4条及び第5条に規定する以下の教科及び教職に関する科目の単位を修得済みであること。

教科及び教科の指導法に関する科目

各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

2単位

教育の基礎的理解に関する科目

教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）

2単位

「幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」又は「特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解」

2単位

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

「生徒指導の理論及び方法」，「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」及び「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」

4単位

(2)免許法施行規則第66条の6に規定する科目以外で、教育職員免許状の取得に必要な教職に関する科目（教育実習及び教職実践演習を除く。）を履修済み又は履修中であること。

【備考】

中等教育実習Ⅱ及び中等教育実習Ⅲを履修することのできる者は、学部第4年次学生で次の(1)(2)いずれにも該当する者とする。

(1)教育職員免許法施行規則第4条及び第5条に規定する以下の教科及び教職に関する科目の単位を修得済みであること。

教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	2
教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	2
	「幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」又は「特別の支援を必要とする幼児，児童及び生徒に対する理解」	2
道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目	「生徒指導の理論及び方法」，「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」及び「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」	4

(2)免許法施行規則第66条の6に規定する科目以外で，教育職員免許状の取得に必要な教科及び教職に関する科目（教科及び教科の指導法に関する科目，教育の基礎的理解に関する科目，道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目）を履修済み又は履修中であること。

教育実習は，高等学校教員の免許状を希望する者は出身高等学校に依頼することを原則とし，出身学校への教育実習の依頼は，実習希望学生が直接行います。

第3年次4月頃及び第4年次4月頃に連絡通知にて重要なお知らせがありますので，注意してください。

VI. 教育職員免許状の取得について

教育職員免許状は、教育職員免許法及び同法施行規則に定めるところに従って授与されます。

1. 経済科学部において取得することができる免許状の種類、教科は次のとおりです。

区 分	学科・専攻	教育職員免許状の種類（免許教科）
経 済 科 学 部	総 合 経 済 学 科	高等学校教諭一種免許状（商業）

2. 免許状取得に必要な資格は、次のとおりです。

所要資格 免許状の種類	基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位数		
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
高等学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	24	24	12

3. 免許状取得には、上記の他に教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目の単位の修得が必要です。

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

免許法施行規則第66条の6で規定された科目		左記区分に対応して本学で開講している科目及び必要単位数		
科 目 名	単位数	科 目 名	単位数	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	2	
体 育	2	健康スポーツ科学実習Ⅰ 健康スポーツ科学講義	1 2	※左記科目から2単位修得すること。
外国語コミュニケーション	2	アカデミック英語入門L アカデミック英語入門R	1 1	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	データサイエンス基礎演習 データサイエンス総論Ⅰ データサイエンス総論Ⅱ 情報処理概論AⅠ 情報処理概論AⅡ	2 1 1 2 2	※左記科目から2単位修得すること。

4. 高等学校教諭一種免許状を取得するためには、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」を以下に示す科目区分ごとに、必要単位数を満たすよう科目を履修する必要があります。

なお、最低修得単位数に係わらず、必修となっている科目は必ず修得しなければなりません。

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則 に定める科目区分			最低修得単位数	
			教科及び教科の指導法 に関する科目	大学が独自に 設定する科目
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	商業の関係科目	18 単位	12 単位
		職業指導	2 単位	
	各教科の指導法 (商業科教育法)		4 単位	
	合計		24 単位	12 単位

※各区分の具体的な科目名については、次ページ以降の表を参照。

教科及び教科の指導法に関する科目

高校一種（商業）

免許法施行規則 に定める科目区分			授業科目	単位数	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	商業の関係科目	会計学概論Ⅰ	2	必修
			会計学概論Ⅱ	2	必修
			経営学概論Ⅰ	2	必修
			企業分析入門	2	必修
			原価計算論	2	必修
			経営情報論	2	
			経営戦略論Ⅰ	2	
			経営戦略論Ⅱ	2	
			経営組織論Ⅰ	2	
			経営組織論Ⅱ	2	
			経営学概論Ⅱ	2	
			人的資源管理論Ⅰ	2	
			人的資源管理論Ⅱ	2	
			マーケティング論Ⅰ	2	
			マーケティング論Ⅱ	2	
			租税理論Ⅰ	2	
			租税理論Ⅱ	2	
			管理会計論Ⅰ	2	
			管理会計論Ⅱ	2	
			財務会計論Ⅰ	2	
			財務会計論Ⅱ	2	
			国際会計論	2	
				職業指導	職業指導
	各教科の指導法	商業科教育法Ⅰ	2	必修	
		商業科教育法Ⅱ	2	必修	

(2) 教育の基礎的理解に関する科目等（教職に関する科目）

施行規則に定める科目区分等			令和2年度以降	
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数
		高校		高校
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職入門	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育の制度と経営	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 B	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	2
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		（教育課程及び総合的な学習の時間の指導法 B に含まれる。）	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生活指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	8	教育課程及び総合的な学習の時間の指導法 B	2
	特別活動の指導法		（教育方法及び特別活動の指導法 B に含まれる。）	
	教育の方法及び技術		教育方法及び特別活動の指導法 B	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育情報論	1
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導 B	2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談・進路指導 B	2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		（教育相談・進路指導 B に含まれる。）	
教育実践に関する科目	教育実習	3	中等教育実習Ⅱ	3
	教職実践演習	2	教職実践演習（中等）	2
計		23	計	24

5. 中等教育実習Ⅱを履修することのできる者は、学部第4年次学生で、次の各号のいずれにも該当するものとする。

(1)教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号。以下「免許法施行規則」という。）第4条及び第5条に規定する次の科目の単位を**修得済み**であること。

教科及び教職に関する科目	科目に含めることが必要な事項	本学の授業科目名	単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	商業科教育法	2単位
教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門	2単位
	「幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」又は「特別の支援を必要とする用事、児童及び生徒に対する理解」	教育心理学B 特別支援教育概論	2単位 (注1)
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	「生徒指導の理論及び方法」、「教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法」及び「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」	生徒指導B 教育相談・進路指導B	4単位 (注2)

(注1)「教育・学校心理学B」又は「特別支援教育概論」のうち、最低、いずれか1科目(2単位)を修得。

(注2)「生徒指導B」及び「教育相談・進路指導B」の2科目(各2単位)をいずれも修得。

(2)免許法施行規則第66条の6に規定する科目以外で、教育職員免許状の取得に必要な「教科及び教職に関する科目」（教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目）を**履修済み又は履修中**であること。

【理学部】

「3. 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること」について

理学部の「履修の手引」に教員養成に係る授業科目を掲載しておりますので、下記のURLよりご覧ください。

「6.教育職員免許状の取得について」を参照

https://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/edu/rishu_tebiki.html

【工学部】

工学部の〔学生必携〕に教員養成に係る授業科目を掲載しております。

■新潟大学工学部 HP

ホーム > 在学生のみなさんへ > 学生必携

<https://www.eng.niigata-u.ac.jp/student/#must>

8 各種資格の取得

(1) 教育職員免許状

学士の学位を有し、教育職員免許法で定める「教科及び教職に関する科目」を 60 単位修得することにより、卒業時に高等学校教諭一種免許状（農業）を取得することができます。

本学のカリキュラム上、教員免許取得には次の科目及び単位の履修が必要になります。

① 教科及び教職に関する科目

（教科に関する専門的事項【農業の関係科目】以外は、卒業要件単位には含まれません。）

免許法施行規則上の科目区分	科目名	単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項（39 ページ参照）※1	20
	教科教育法 ※2	4
教育の基礎的理解に関する科目	教育学概論	2
	教職入門	2
	教育の制度と経営	2
	教育心理学B	2
	特別支援教育概論	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育課程及び総合的な学習の時間の指導法B	2
	教育方法及び特別活動の指導法B	2
	教育情報論	1
	生徒指導B	2
	教育相談・進路指導B	2
教育実践に関する科目	中等教育実習Ⅱ ※3	3
	教職実践演習（中等）	2
大学が独自に設定する科目	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教科の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて 12 単位以上を修得のこと。	12
合 計		60

※1 教科に関する専門的事項

(専門教育に関する授業科目のうち、履修しなければならない科目及び単位数)

教科に関する専門的事項			
【農業の関係科目】 右記から 30 単位修得 (うち、下線を付した科目は必修)	基礎農林学実習	農 学 入 門 I	農 学 入 門 II
	新潟の農林業	土 と 水	資源植物科学概論
	資源動物科学概論	食料資源経済学	測 量 学 (農)
	測量学実習 (農)	フォレスター入門	作 物 学
	国際フードシステム論	農産物流通論	農業経営学
	農業農村開発論	農業協同組合論	植物育種学
	作物生理学	果樹・蔬菜園芸学	花卉園芸学
	動物衛生福祉学	食料環境工学	食品・農業情報工学
	農村空間デザイン学	牧 場 実 習	植物生産学実験実習Ⅰ
	植物生産学実験実習Ⅱ	植物生産学実験実習Ⅲ	植物生産学実験実習Ⅳ
	動物生産学実験実習Ⅰ	動物生産学実験実習Ⅱ	動物生産学実験実習Ⅲ
	動物生産学実験実習Ⅳ	農業経済学演習Ⅰ	農 地 と 水 利 用
	森 林 環 境 論	精密農業工学	森 林 保 護 学
	バイオマスエネルギー論	森 林 再 生 学	持続可能な森林管理演習及び実習
	食 品 化 学	植物バイオマス利用科学	土 壤 生 化 学
	植物細胞工学	肥 料 学	植物ウイルス学
	動物遺伝増殖学	動物発生生殖学	醸 造 学
	食 品 機 能 学	食 品 衛 生 学	畜 産 食 品 学
	農 産 食 品 学	食 品 工 学	食 品 安 全 学
	食品マーケティング論	水 産 食 品 学	食 品 科 学 概 論
	環 境 砂 防 学	水 環 境 工 学	土 壤 物 理 学
	構造デザイン工学	土 環 境 工 学	環 境 材 料 工 学
	防災系演習及び実習	林 木 育 種 学	生 態 遺 伝 学
	流域環境 GIS	流 域 水 文 学	環境リモートセンシング
	GIS・リモートセンシング演習		
【職業指導】 必修	職業指導 (農)		
	※ローテーションで農学部・経済科学部・工学部にて開講		

農学部

※2 教科教育法について

農業の免許取得希望者は、農業科教育法ⅠおよびⅡを履修する。

※3 教育実習について

教育実習の単位は3単位です（中等教育実習Ⅱを履修すること）。春期または秋期に実習校（出身高校等）で2週間実習を行います。また、教育実習には「事前指導」及び「事後指導」があり、これらは大学で行われますが、必ず出席しなければなりません。

教育実習の受講を希望する者は、第3年次4月に学部で行うガイダンスに出席し、「教育実習受講願」を提出し手続きを行ってください。原則として、実習教科は免許教科及び専攻教科に一致することが必要です。

なお、教育実習を受講するにあたっては、以下の要件を満たす必要があります。

- ① 本学部の第4年次学生であること
- ② 第3年次終了までに、「教職入門」、「教育心理学B」または「特別支援教育概論」から2単位、「教科教育法」2単位、「生徒指導B」、「教育相談・進路指導B」を取得済みであること
- ③ ②以外の教員免許取得に必要な科目を取得済みまたは履修中であること

② 教養教育に関する科目のうち履修を必要とする科目（66条の6の科目）

（卒業要件単位に含まれます。）

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
人文社会・教育科学	日本国憲法	2		2単位修得のこと。
情報リテラシー	情報処理概論AⅠ		2	左記科目のうちからいずれかで2単位以上修得のこと。
	情報処理概論AⅡ		2	
	データサイエンス基礎演習		2	
	データサイエンス総論Ⅰ		1	
	データサイエンス総論Ⅱ		1	
英語	アカデミック英語入門L	1		2単位修得のこと。
	アカデミック英語入門R	1		
健康・スポーツ	健康スポーツ科学実習Ⅰ	1		1単位修得のこと。
	健康スポーツ科学講義		2	「健康スポーツ科学講義」または「健康スポーツ科学講義a及びb」のいずれかを修得のこと。
	健康スポーツ科学講義a		1	
	健康スポーツ科学講義b		1	